

中津川の森づくり

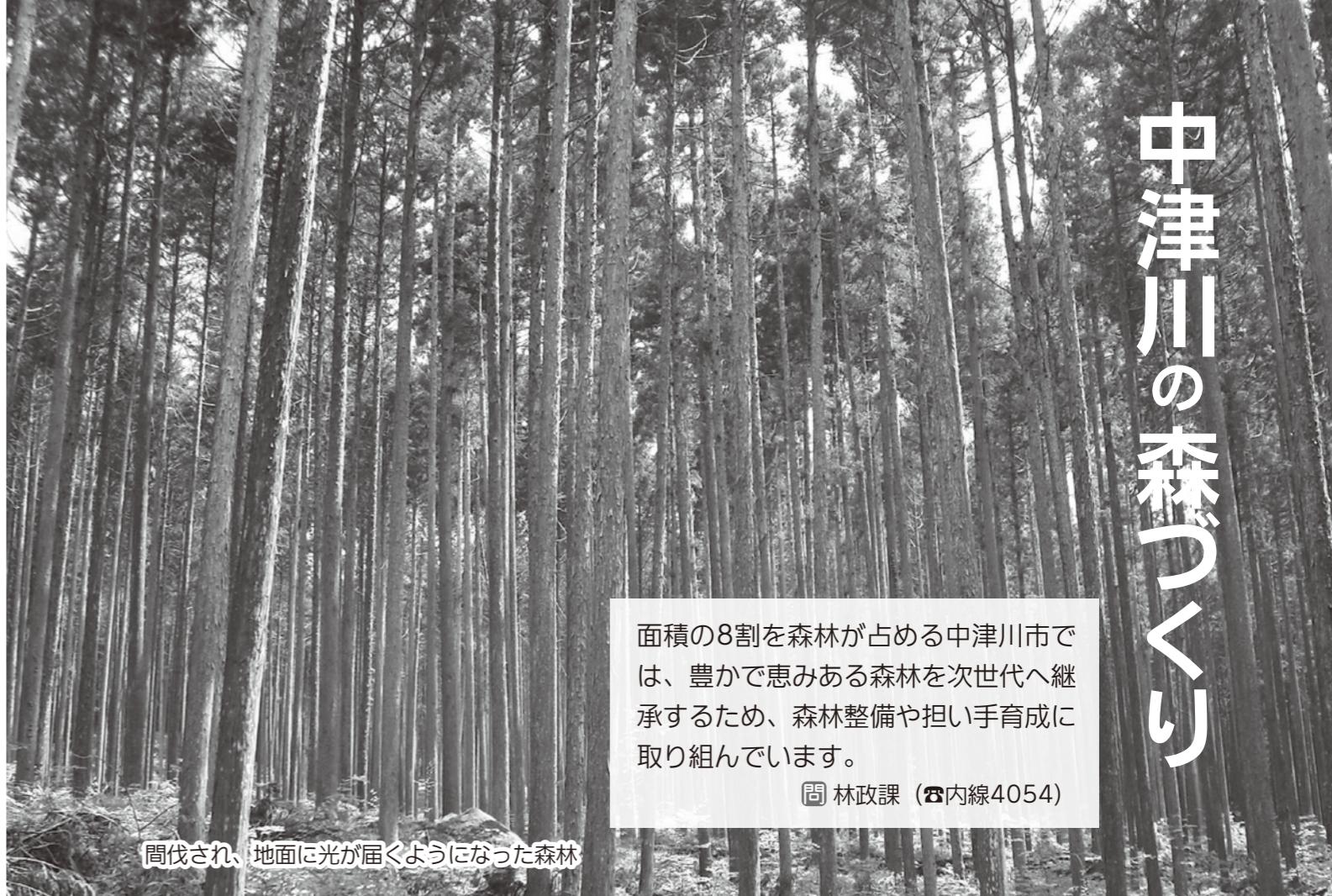


▲「大人向け木育講座」の様子

森の担い手育成構想

幼い頃から木に触れ、木を知り、木に親しみを持つことができる環境を整備することで、森林への関心を高め、将来、木を使える人材の育成に取り組んでいます。

- ①乳幼児や新入園児、新入学児童への木製品の配布
- ②林業・木工体験をはじめ、親子で楽しめるイベントを山の日にあわせて実施
- ③新規林業従事者に必要な装備品購入や資格取得を支援
- ④木曽ヒノキ備林の見学のほか、県外の大学生らが木造建築を学ぶ「かしも木匠塾」



問 林政課 (内線4054)



▲路面を補修し、利用しやすい林道に



▲無人ラジコンヘリによる森林資源調査

森林整備の推進 林道・作業道の整備

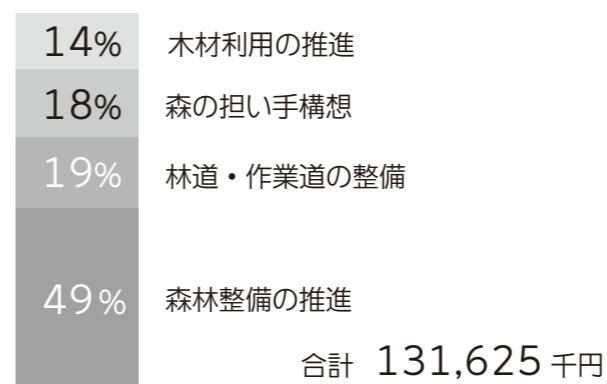
市では、手入れの行き届いていない里山林や奥山林の整備、既存の補助事業の対象にならない危険木の除去などを実施しています。また、広大な森林の資源調査を効率的に実施するため、無人ラジコンヘリやデジタル技術の活用などにも取り組んでいます。

森林環境譲与税の活用

森林環境譲与税は、令和元年度から、市町村と都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数、人口に基づき、按分し、国から譲与されます。

また、間伐や人材の育成・確保、木材利用の促進や普及啓発など、森林の整備及び促進に関する費用に充てることとされています。詳しくは二次元コードから

令和6年度森林環境譲与税の活用実績



木に触れて遊ぶ 学ぶなかつがわ森の木遊館

子どもから大人まで幅広い年齢層の方が「木に触れ、木に親しみ、森林とのつながりを体感できる」施設として、開館以来、県内外から約2万人の方にお越しいただきました。季節ごとのイベントや大人向け木育イベントなどを開催しています。詳しくは「次元コードから」